

部会名	平成 29 年度 第 1 回 自立支援協議会 就労支援部会		
日 時	平成 29 年 12 月 13 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00		
場 所	板橋区立文化会館 第 3 会議室		
参加者	障がい福祉課管理係、ワーキングトライ、障害者職業センター、ハートワーク、等		
会議の公開 (傍聴)	非公開 (傍聴不可)	傍聴者数	なし

○当日参加者 8 名 (ハローワーク池袋 欠席)

今年度の初顔合わせとなり、議題 1 に入る前に星野課長よりのご挨拶の後、各委員の自己紹介および各事業所、各支援機関からの現状や認識の報告、初参加機関の障がい者との今後の関わり方についての意見交換を行った。

第一回の開催が年末まで遅れた理由として、厚生労働省からの障害者総合支援法改訂についての具体的な内容での通達がされなかった件を上げ、各委員の事後了承を得た。

議題 1、国の制度改正について 公開されている範囲においての上記の説明、板橋区としての見解、今後の予想、についての説明。一般就労への様々なルート、福祉的就労について、区民アンケートの集計結果および職場定着への要望、他、管理係副係長、森山氏より

議題 2、主な出席者からの主な現状報告および質疑応答。

志村学園 小澤委員より 今期の三年生の就職状況報告について、既に九割の生徒の就職が決定している。残りの一割の就職が、卒業までの課題。

板橋区商工会議所 新保委員より 障がい者の雇用義務が無い中小企業では、後継者不足や人手不足により障がい者の雇用を検討しているところがある。新たな就労開拓と結びつきが出来ないか等の提言

ワーキングトライ 清家委員より 就労支援サービスを利用していない人が多いという点について、地の利の点から区外の利用も多い。もっと区内の事業所をアピールしていく必要があると感じている。また事業所によって就労への考え方や意識が全く違う事がわかっている。

ハート・ワーク 内田 より 新規事業の定着支援センター募集に手を上げて、結果として指定が取れない移行事業所から就職者への支援対応、支援機関に未登録であるが、企業での就労が決まっている障がい者の今後の支援の受け入れ先についての課題。

以上